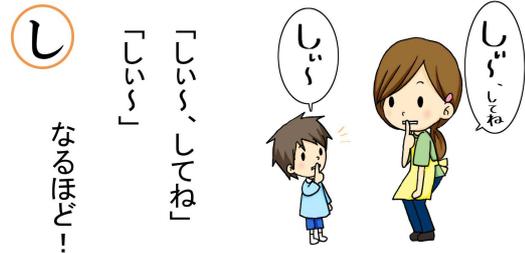


課題になっている行動 (気になる行動)

相手の
言っていることを
繰り返す



監修・文 水野敦之 絵：宗貞由貴子

環境・状況の要因	本人の特性	本人の経験や気づきの影響
<input type="checkbox"/> 様々な状況の変化 <input checked="" type="checkbox"/> 影響を与える刺激や情報 相手の言葉 <input checked="" type="checkbox"/> 必要な支援がない 本人が理解できる情報でつたえていない <input type="checkbox"/> その他 <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> 行動前の状況※ 相手が言葉で指示をする	<input checked="" type="checkbox"/> 受容コミュニケーション の特性：相手が言っている ことの意味が難しい <input checked="" type="checkbox"/> 表出コミュニケーション の特性：即時性反響言語 (相手の言っていることを 繰り返す) <input checked="" type="checkbox"/> 関係理解 (意味理解) ・般化 の困難さ	<input type="checkbox"/> 習慣になっているものがある <input checked="" type="checkbox"/> 自分流の気づき・考え方をもち 相手が言っている言葉を言っていると 思っている <input type="checkbox"/> 過去に経験したこと学んだこと <input type="checkbox"/> 過去に経験したことにより恐怖や嫌 悪感をもっていること <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> 行動後の状況・結果※ 相手が繰り返し言葉で指示をする

活用できる他の資源	活用できる本人のスキル	活用できる本人の気づき
	絵、写真の理解	

支援計画 ※支援の具体的な計画は自立課題シートで整理する方法もあります		
環境を変える部分は？	本人の特性にあわせた支援は？	本人に伝える・教える部分は？
・本人が理解できる情報で、時間や空間の見通しを提示する。 ・代替コミュニケーションを準備し活用する	・本人が理解できる絵や写真などの情報で伝える。	・各場面の表出コミュニケーション指導で、本人に言ってほしい内容でモデルを提示する (反響言語を活用する) ・本人の好んで使っている表出コミュニケーションのタイプから教える。 ・本人の好きなものから教える

解説と支援の方向性について

自閉症の人の中には、反響言語がある方がいます。反響言語は、以前聞いたコマースやニュースなどを繰り返す遅延反響言語と、その場で言われたことを繰り返す即時性反響言語があります。このエピソードは、即時性反響言語になります。特性は表出コミュニケーションの特性ですが、相手の言葉を理解しないで繰り返していますので、受容コミュニケーションの特性としても考えられます。